

DUO HAYASHI FRIENDLY CONCERT

デュオ ハヤシ フレンドリー コンサート

in OSAKA II

～トークを交えて～



cello 林俊昭

piano 林由香子

* フランス音楽の
エスプリと
エッセンス *

■ 第1部

サン＝サーンス : 「あなたの声に私の心は開く」(サムソンとデリラより)
: チェロとピアノのためのソナタ 第2番 へ長調 Op.123

■ 第2部

フォーレ : パヴァーヌ Op.50
: エレジー Op.24
ドビュッシー : 美しきタベ
プーランク : セレナーデ
: カヴァティーヌ (チェロとピアノのためのソナタより 第2楽章)
ラヴェル : ハヴァネラ形式の小品
: 亡き王女のためのパヴァーヌ

■ 演奏後にミニパーティがございます。

2015年12月5日(土) 2:00 p.m.

中央電気倶楽部ホール (5F)

¥4,100

[3,796円+消費税]

[全席自由]

■ お申込み・お問合せ : 079-428-1699 (中村)

デュオ ハヤシ

林 俊昭：チェロ 林 由香子：ピアノ

林俊昭は、青木十良氏に師事し、70年桐朋学園高校音楽科を卒業後、渡米。ボストン大学でナイクラッグ氏に学ぶ。

林由香子は、桐朋学園高校、同大学で井口基成、高柳朗子、岡林千枝子の各氏に師事する。2人は73年からデュオとしての活動を始め、77年に渡欧。プリース、ナヴァラ、フルニエ、ヤニグロ等、世界的巨匠である各氏に師事。80年、ローマのサンタ・チェチリア音楽院室内楽科を満点で卒業後、イタリアを中心に60回余のコンサートなど活躍。2枚のCDがイタリア一流音楽誌より最高評としての5つ星を得る。

その間、ミュンヘン国際、マリア・カナルス、トラッパニ国際、ヴィットリオ・ガイ国際室内楽など、数多くの国際コンクールで優勝、入賞する。

87年、林俊昭が大阪フィルハーモニー交響楽団首席チェリストとして就任(95年まで在籍)のために帰国。その後は室内楽の普及を目指し、メインの活動である「デュオ ハヤシ リサイタル」の他に、イ・ムジチやベニス合奏団のコンサート・マスターらを招いた室内楽シリーズ「デュオ ハヤシとイタリアの仲間たち」の全国公演を10回開催。大阪では、室内楽「隠れた名曲シリーズ」も第10回、東京での「デュオ ハヤシのとおき室内楽」は第16回を迎えた。

デュオ ハヤシは2013年に結成40周年を迎え、全国各地で記念演奏会を行った。帰国後これまでに5枚のCDをリリース、ヨーロッパ、アメリカへの演奏旅行も、15回以上行う。11年にはイタリア・フェルモ市で、デュオハヤシのイタリアでの長年の活動を賞して「ジョルダニエロ賞」を授与される。

03年からはイタリア・クーブラ国際夏期音楽祭で、チェロと室内楽のマスタークラスのレギュラー講師として招かれるなど、若い音楽家の育成にも力を注いでいる。また、日本では鳥取、出石、和歌山で「室内楽講習会」を20年にわたり主宰する。

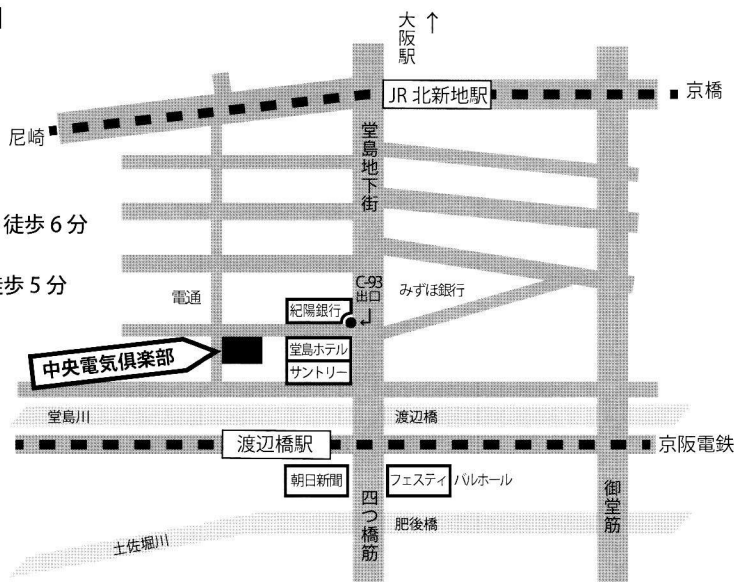
林俊昭は、東京藝術大学チェロ科講師を15年、日本(大阪)センチュリーオーケストラ特別契約首席チェロ奏者を8年務め、現在は、徳島文理大学教授、名古屋音楽大学特別講師、紀尾井シフォニエッタ東京、サワカルテットのメンバー。また、01年、05年、10年の「1000人のチェロコンサート」では、コンサート・マスターを務めた。(05年の指揮者は、ロストロポーヴィチ氏)

2013年9月にはチェロとピアノ、ヴァイオリンとピアノの二重奏のための「第1回デュオハヤシ国際コンクール」をイタリアのサンタ・ヴィットリア・イン・マテナーノ市で開催。第2回目を16年に開催する予定。

●中央電気倶楽部付近案内図

TEL:06-6345-6351 (代)

- 大阪駅より徒歩12分
- JR北新地駅より徒歩7分
- 地下鉄四つ橋線 西梅田駅より徒歩6分
[C-93番 出口より]
- 京阪中之島線 渡辺橋駅より徒歩5分



予告

第2回デュオハヤシ国際コンクール
プレコンサート
～フルートの鬼才ダンテ・ミロツィと共に～

[大阪] 2016年3月31日(木) 18:45
中央電気倶楽部

[東京] 2016年4月1日(金) 18:45
ヒルサイドプラザ・ホール